

学校だより

平成29年9月1日



深まる絆 広がる夢

横浜市立左近山小学校
Sakonyama

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sakonyama/>

9月号

電話：351-7856 FAX：351-7398

y3sakony@edu.city.yokohama.jp

夢中がいっぱい左近山の子～仲間とともに まちとともに 未来とともに～

学校長 地口 朝美

今年は、梅雨のように雨が続き、猛暑が続いたり、いつもとはちがう夏でした。

その夏も終わり、いよいよ学校が始まりました。子どもたちが、「早寝・早起き・朝ごはん」や「時間を守ること」など生活のリズムを整えて残暑を乗り越え、学習への集中力を高めていくことを願っています。

この夏、印象に残ることが二つあります。一つめは、例年通り開催された地域の夏祭です。子どもたちが、とても楽しみにしているイベントです。子どもたちも地域の一員として店番をしたり参加したりして、楽しむ姿がたくさん見られました。高校生がマイクで当日の進行係を務める自治会もありました。まさに、地域と若い世代のコラボです。

私は、夏祭に参加することで、日頃お世話になっている方々にご挨拶したり、かつてご支援いただいた自治会やPTAの方々にお会いしたりして、今の学校の様子を伝えることができました。夏祭は、子どもから大人まで地域がひとつなれる場であると強く感じました。様々な地域の人たちが集い、準備から運営まで自分たちの手で創り上げる様子を見て、子どもたちは自分の地域や伝統の祭を大切にしたいという心が育成されているように思います。

二つめは、横浜国際プールで行われた市水泳大会です。今年も、たくさんの感動を味わわせてもらいました。今年、本校からは男子200メートルリレーに4名と50メートル自由形に男女1名ずつが旭区代表として出場しました。開会式では、男子200メートル前年度優勝校として、「横浜市小学校水泳大会優勝杯」を返却し、レプリカを贈呈していただきました。大会に出場した選手たちを見ていると、レース前でも落ち着いていました。でも、レースになると、気持ちが切り替わり練習で培ったパワーを爆発させていました。

水泳の応援には、今年も力が入っていました。選手がレースに出場するときは、各校の引率教員が、応援リーダーとなり選手のネームプレートが旭区の観客席にむかって示し、教員自らメガホンを使って声を張り上げて、エールを送りました。それに合わせて観客席の人たちが応援しました。選手が泳いでいる間応援し続けるので、応援リーダーも観客席の人たちもかなりのエネルギーを使っていました。新記録が期待できそうなレースになると、横浜国際プールの観客全員が新記録達成を願い、会場全体が大歓声に包まれていました。とても、感動的でした。

夏祭、市水泳大会のいずれも、子どもも大人も楽しむ姿がみられました。私自身も楽しい時を過ごさせてもらいました。面白いことや楽しいことを多くの人たちと共に経験することでより大きな感動を得ました。2017年の夏、感動を共有できたことで、人とのつながりが深まり、人のよさをさらに感じる事ができました。